



## 2024年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2024年5月10日

上場会社名 宮越ホールディングス株式会社  
コード番号 6620 URL <http://www.miyakoshi-holdings.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 宮越 邦正  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 板倉 啓太 TEL 03-3298-7111  
定時株主総会開催予定日 2024年6月27日 有価証券報告書提出予定日 2024年6月27日

配当支払開始予定日  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	1,137	13.8	421	9.7	769	1.3	536	6.9
2023年3月期	1,319	6.3	466	6.6	779	8.9	501	23.9

(注) 包括利益 2024年3月期 968百万円 (0.6%) 2023年3月期 974百万円 (40.5%)

	1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	営業収益営業利益率
	円 銭	%	%	%
2024年3月期	13.40	2.2	2.8	37.1
2023年3月期	12.54	2.1	2.9	35.4

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 百万円 2023年3月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	27,709	26,646	90.8	628.68
2023年3月期	26,868	25,678	90.4	607.33

(参考) 自己資本 2024年3月期 25,156百万円 2023年3月期 24,301百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	744	258	0	3,261
2023年3月期	630	334	199	2,709

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期		0.00		0.00	0.00			
2024年3月期		0.00		0.00	0.00			
2025年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00			

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	990	13.0	260	38.3	540	29.8	360	32.8	9.00

## 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

除外 1社 (社名) 隆邦医葯貿易有限公司

(注)詳細は、添付資料11ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項 (重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数

2024年3月期	40,014,943 株	2023年3月期	40,014,943 株
2024年3月期	925 株	2023年3月期	909 株
2024年3月期	40,014,023 株	2023年3月期	40,014,225 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(重要な子会社の異動) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における経済環境は、米国経済が引き続き底堅く推移しているものの利上げの影響で成長が鈍化傾向にあり、ユーロ圏ではインフレ率の高さを背景に継続する利上げが景気の重しとなる中、長引くウクライナ・ロシア情勢や中東地域の緊迫化などの地政学的リスクや為替市場の急激な変動等により、世界経済は依然として先行き不透明で予断を許さない状況が続いております。

一方で当社グループの事業拠点である中国深圳市は、大湾区（グレートベイエリア）を擁する華南地域の中心都市として海外から注目され、自動車関連業界の好調さを受け、昨年度のGDP伸び率は全国平均（5.2%）を上回る6.0%となるなど経済状況は回復に向かっているものと思われれます。なお、ウクライナ・ロシア情勢等の地政学的リスクが経済に与える影響は軽微なものと考えております。

このような状況下、当社グループは引き続き、不動産賃貸管理事業の収益基盤の強化に取り組むとともに、再開発の着工に備えて多額な投資を伴う新規テナントの入居を見送り、賃貸契約期限の到来するテナントに対しても開発の状況を見据えて長い期間の契約更新は避け、短期賃貸期間の運営による効率化を重視するなどの政策を行っております。

この結果、当連結会計年度における営業収益は1,137百万円（前期比13.8%減）、営業利益421百万円（前期比9.7%減）、経常利益769百万円（前期比1.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益536百万円（前期比6.9%増）となりました。

#### 不動産再開発事業について

当社グループが推進する深圳プロジェクトは、深圳市福田区に保有（使用権）する工場跡地を再開発し、中国グリーン建築、国際LEED・WELL認証基準を取り入れた設計・建築により、経済、社会、環境の持続可能性を実現する「ワールド・イノベーション・センター」（以下「WIC」といいます。）の建設を目指しています。また、WICの機能は、中国の先進的経済を実現している13省・4直轄市と提携して、各地域の大手企業とWICに進出した大手外資企業の最新情報を満載したシステム、更に地元の大手企業やスタートアップとのマッチングシステムなど進出企業にとってイノベーションの創出を加速させるプラットフォームを構築するプロジェクトです。なお、開発の許認可につきましては、コロナ禍におけるロックダウン等の影響で当初計画より遅れておりましたが、深圳市福田区都市更新・土地整備局（以下「都市更新局」といいます。）が本年2月24日付公告で「福田区沙頭街道車公廟エリア連片改造・アップグレード都市更新ユニット計画」を発表したことに伴い、現在、開発主体独自の規制編成案を申請するため、深圳市都市計画設計研究院及び株式会社日建設計と規制設計契約を締結して準備を進める一方で、都市更新局と具体的な指標（オフィス、住宅、商業施設、公共施設の具体的な建築床面積）の協議を進めており、協議が整い次第、開発の詳細及びスケジュール、収益等について順次発表致します。

一方では、深圳市政府の委嘱を受けて精力的な企業誘致活動も行っており、日本からは上場企業を中心に先進的優良企業がWIC進出の意向を表明し、更に海外では欧米のフォーチュングローバル500企業を中心に大手企業が強い関心を示しており、すでに日米欧から100社を超える企業が進出意向を表明しています。今後開発手続きが進むに従ってWICへの進出希望企業はさらに増加いたします。

なお、深圳市においてWICプロジェクトを進めておりますが、当社は総合投資会社を標榜しており、当該プロジェクトは投資事業の第1号案件と位置付けております。

当社グループの報告セグメントは、「不動産開発及び賃貸管理」のみの単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産総額は、前連結会計年度末に比べ841百万円増加し、27,709百万円となりました。この主な要因は、為替相場の変動により在外子会社の現金及び預金が増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ127百万円減少し、1,062百万円となりました。この主な要因は、未払金等の減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ968百万円増加し、26,646百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金及び為替換算調整勘定の増加によるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ552百万円増加し、3,261百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、744百万円増加（前期は630百万円の増加）いたしました。これは主に、税金等調整前当期純利益779百万円の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、258百万円減少（前期は334百万円の減少）いたしました。これは主に、定期預金の預入によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、0百万円減少（前期は199百万円の減少）いたしました。

## (4) 今後の見通し

今後の業績見通しにつきましては、当社グループの事業拠点の中国深圳市は、ウクライナ・ロシア問題などの地政学的なリスクによる影響は軽微であり、重要な影響を及ぼす可能性は低いと判断しておりますが、不動産再開発による深圳プロジェクトの進捗に伴い、長期賃貸期間の顧客にご遠慮願う等の政策を原因として一時的に賃料収入が減少する見込みであり、更に開発に関連した人材確保の費用及び企業誘致の推進費用が発生いたします。それらの事象を勘案した次期の通期連結業績見通しは以下のとおりです。

営業収益	990百万円（前期比13.0%減）
営業利益	260百万円（前期比38.3%減）
経常利益	540百万円（前期比29.8%減）
親会社株主に帰属する当期純利益	360百万円（前期比32.8%減）

上記の業績予想に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因により予想と異なる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面の間は日本基準を用いて連結財務諸表の作成を行う方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,981	11,003
営業未収入金	141	80
その他	814	832
貸倒引当金	△41	△24
流動資産合計	10,896	11,891
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,534	2,656
減価償却累計額	△2,534	△2,656
建物及び構築物（純額）	0	0
機械装置及び運搬具	21	22
減価償却累計額	△19	△20
機械装置及び運搬具（純額）	2	2
その他	82	87
減価償却累計額	△79	△84
その他（純額）	3	3
建設仮勘定	204	256
有形固定資産合計	210	261
無形固定資産		
のれん	78	39
土地使用権	947	926
その他	0	0
無形固定資産合計	1,026	966
投資その他の資産		
長期貸付金	13,451	13,413
繰延税金資産	5	70
その他	1,278	1,106
投資その他の資産合計	14,735	14,589
固定資産合計	15,971	15,818
資産合計	26,868	27,709

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払法人税等	70	81
賞与引当金	2	2
その他	305	191
流動負債合計	378	274
固定負債		
繰延税金負債	94	72
退職給付に係る負債	8	8
その他	708	706
固定負債合計	811	787
負債合計	1,189	1,062
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,217	9,217
資本剰余金	8,962	8,962
利益剰余金	5,543	6,079
自己株式	△0	△0
株主資本合計	23,722	24,258
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	579	897
その他の包括利益累計額合計	579	897
非支配株主持分	1,376	1,490
純資産合計	25,678	26,646
負債純資産合計	26,868	27,709

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業収益	1,319	1,137
営業原価	199	193
営業総利益	1,119	943
販売費及び一般管理費	652	522
営業利益	466	421
営業外収益		
受取利息	279	281
為替差益	7	65
その他	25	0
営業外収益合計	313	348
経常利益	779	769
特別利益		
子会社清算益	-	9
特別利益合計	-	9
税金等調整前当期純利益	779	779
法人税、住民税及び事業税	289	280
法人税等調整額	△69	△87
法人税等合計	219	193
当期純利益	559	586
非支配株主に帰属する当期純利益	58	49
親会社株主に帰属する当期純利益	501	536



## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	559	586
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	414	382
その他の包括利益合計	414	382
包括利益	974	968
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	849	854
非支配株主に係る包括利益	125	114

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2022年4月1日 至2023年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	9,217	8,962	5,241	△0	23,421
当期変動額					
剰余金の配当			△200		△200
親会社株主に帰属する 当期純利益			501		501
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	301	△0	301
当期末残高	9,217	8,962	5,543	△0	23,722

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	231	231	1,251	24,904
当期変動額				
剰余金の配当				△200
親会社株主に帰属する 当期純利益				501
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	347	347	125	473
当期変動額合計	347	347	125	774
当期末残高	579	579	1,376	25,678

当連結会計年度(自2023年4月1日 至2024年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	9,217	8,962	5,543	△0	23,722
当期変動額					
剰余金の配当			-		-
親会社株主に帰属する 当期純利益			536		536
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	536	△0	536
当期末残高	9,217	8,962	6,079	△0	24,258

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	579	579	1,376	25,678
当期変動額				
剰余金の配当				-
親会社株主に帰属する 当期純利益				536
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	318	318	114	432
当期変動額合計	318	318	114	968
当期末残高	897	897	1,490	26,646

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	779	779
減価償却費	66	67
のれん償却額	39	39
長期前払費用償却額	230	273
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△172	△18
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	0	0
受取利息	△279	△281
為替差損益 (△は益)	△18	△72
営業債権の増減額 (△は増加)	204	67
その他	△124	△76
小計	726	778
利息の受取額	219	238
法人税等の支払額	△404	△286
法人税等の還付額	88	13
その他	0	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	630	744
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△209	△42
長期前払費用の取得による支出	△4	△4
貸付金の回収による収入	28	28
定期預金の預入による支出	△1,310	△160
定期預金の払戻による収入	1,168	-
差入保証金の差入による支出	△6	-
その他	-	△79
投資活動によるキャッシュ・フロー	△334	△258
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△199	△0
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△199	△0
現金及び現金同等物に係る換算差額	38	66
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	134	552
現金及び現金同等物の期首残高	2,574	2,709
現金及び現金同等物の期末残高	2,709	3,261

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な子会社の異動)

当社の連結子会社であった隆邦医葯貿易有限公司は、2024年1月26日付で清算終了したため、連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報等)

当社グループの報告セグメントは、「不動産開発及び賃貸管理事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

## (1 株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
1株当たり純資産額	607円33銭	628円68銭
1株当たり当期純利益金額	12円54銭	13円40銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 算定上の基礎

(1) 1株当たり当期純資産額

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	25,678	26,646
純資産の部の合計額から控除する 金額(百万円)	1,376	1,490
(うち非支配株主持分)	(1,376)	(1,490)
普通株式に係る当期末の純資産額(百万円)	24,301	25,156
1株当たり純資産額の算定に用いられた 当期末の普通株式の数(株)	40,014,034	40,014,018

(2) 1株当たり当期純利益金額

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	501	536
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	501	536
普通株式の期中平均株式数(株)	40,014,225	40,014,023

(重要な後発事象)

該当事項はありません。